

■基本的な考え方

- 本懇談会の2010年「取りまとめ」後、3空港の一体運営が実現、訪日外国人の劇的な増加等により関西の航空需要は大幅に拡大
大阪・関西万博開催等の好機を逃すことなく、インバウンドの勢いを加速させ、関西全体の発展に繋げていくことが重要
- 世界基準の能力を有する関西空港を主軸に、各空港の特性を活かした最適活用による、世界・アジアに向けた「関西地域における一つの空港システム」の構築を目指す
- 安全・安心の確保の下、環境面の配慮と各空港の能力と需要を踏まえた利用者利便性・経済性を両立させ、空港と地域の共存・共栄を図る
各空港に関する取組・課題について、時間軸の視点を持ち、短期・中期・長期で整理
- 3空港の位置づけと役割は基本的に変更しない
 - ・関西空港：西日本を中心とする国際拠点空港、関西圏の国内線の基幹空港。内際ネットワークの一層の充実が重要
 - ・伊丹空港：国内線の基幹空港、環境と調和した都市型空港
 - ・神戸空港：神戸市及びその周辺の航空需要に対応する地方空港、関空・伊丹を補完する空港

■今後の取組・課題

- 関西エアポート社が主な主体となることから、その経営判断を尊重し、その取組と連携・協力していくことを基本に、以下のとおり整理

項目	概要
2021年頃までの短期の視点に立った取組	<ul style="list-style-type: none"> ・関西空港：災害対応力の抜本的強化 ターミナル1リノベーションの着手など国際拠点空港としての一層の機能強化 ・伊丹空港：ターミナル改修等による機能強化・利便性向上 ・神戸空港：関空・伊丹を補完し関西の航空需要に適切に対応するため、神戸市及びその周辺とこれを結ぶ地域の航空需要と航空上の安全性を踏まえた国内線発着枠、運用時間の段階的拡大（当面、最大発着回数60回⇒80回/日、運用時間を22時⇒23時まで延長）、空港アクセス強化の検討、プライベートジェットの受入推進（C I Q関係省庁への協力要請等） ・全体：3空港の災害対応力向上、発災時の3空港相互支援体制などの整備
2025年頃までの中期の視点に立った取組	<ul style="list-style-type: none"> ・関西空港：旅客処理能力の拡大継続、環境影響調査の検証、将来需要に応じた発着容量の拡張可能性に関する検討、内際ネットワークのさらなる充実など国際拠点空港としての競争力強化と需要拡大 ・神戸空港：関空・伊丹を補完する観点から、国際化を含む空港機能のあり方の検討
上記以外の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・伊丹空港：存続協定等を尊重し、地元関係者と対話しながら取組を進めることが重要 運用時間外の発着便や代替着陸便等については、関係者と連携して定時運航率の向上などに取り組み、周辺環境の改善への努力と利用者利便の向上を図る 伊丹空港の将来像については、上記の課題解決を図った上で、存続協定や国の経営統合基本方針、地元の意向、短中期の取組等を踏まえ、また、将来の大幅な需要変動を見据えて、国際便の就航可能性を含めた今後のあり方について、状況に応じて議論する

(その他)・関西全体の航空需要拡大、空港アクセスの充実を官民連携して推進。国際イベントへの臨時的対応についてはその時々議論
懇談会は、今後も適宜継続開催し(原則年1回程度)、状況変化に応じて評価検討を行い、必要な課題を議論し、順次結論を得る